

予算決算委員会建設分科会記録

[第1日目]

1 日 時 令和4年3月14日（月曜日）

開 会	午前 9時56分
休 憩	午前10時34分
再 開	午前10時46分
散 会	午前10時56分

2 場 所 第4委員会室

3 出席委員 8人

分科会副会長	金 谷 幸 則
委 員	柏 佳 枝
//	高 原 讓
//	豊 岡 達 郎
//	岡 部 享
//	谷 口 寿 一
//	横 野 昭
//	金 厚 有 豊

4 欠席委員 1人

分科会長	竹 田 勝
------	-------

5 説明のため出席した者

【建設部】

副市長	三浦 良平
理事（土木事務所長）	山元 政彦
部次長	高柳 誠
部次長（技術担当）	酒井 正道
参事（道路河川管理担当）	増山 和弘
参事（市営住宅等再編担当）	片山 建
参事（建設政策課長）	高尾 輝彦
参事（土木事務所建設課長）	牧 雅浩
道路整備課長	奥田 孝治
道路河川管理課長	帳山 誠志
河川整備課長	経澤 陽一
道路構造保全対策課長	野上 一成
公園緑地課長	澤野 重雄
防災対策課長	村田 友康
市営住宅課長	山崎 悟
建設政策課主幹（調整担当）	中川 哲也

【活力都市創造部】

部長	中村 雅也
部次長	中村 敏之
部次長（技術担当）	狩野 雅人
参事（都市計画課長）	村井 真哉
参事（都市再生整備課長）	高森 隆
活力都市推進課長	高田 興真
交通政策課長	野村 知範
建築指導課長	佐藤 英子
富山駅周辺地区整備課長	金山 英樹
路面電車推進課長	高田 秀昭
中心市街地活性化推進課長	柵 伸治
居住対策課長	山崎 哲志
活力都市推進課主幹（調整担当）	谷島 洋

6 職務のため出席した者

【議会事務局】

議事調査課長代理	中山 崇
議事調査課主査	熊谷 法子
議事調査課主任	田伏 由佳

7 会議の概要

分科会副会長 分科会長が都合により出席できませんので、富山市議会委員会条例第7条第1項の規定により、私が代わって議事を進めさせていただきます。

ただいまから、令和4年3月定例会の予算決算委員会建設分科会を開会いたします。

〔報道機関のテレビカメラ撮影を許可〕

分科会副会長 審査に先立ち、分科会記録の署名委員に、柏委員、金厚委員を指名いたします。

なお、ただいま指名した署名委員が欠席の場合は、当日出席の年長委員にお願いいたします。

各案件の審査につきましては各部局単位とし、お手元に配付してあります審査順序のとおり行う予定であります。

本日は、建設部、活力都市創造部の補正予算等分の議案の審査を行いますが、質疑については議案に直接関係のあるものだけをお願いいたします。

また、委員及び当局の皆さんに申し上げますが、質疑・答弁及び説明については、簡潔・明瞭に行っていただきますようお願いいたし

ます。

なお、マスクで声が聞き取りにくいことから、発言をされる際は、はっきりと大きな声でお願いいたします。

これより、建設部所管分の議案の審査を行います。

議案第40号 令和3年度富山市一般会計補正予算（第11号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、建設部所管分、第11款災害復旧費中、建設部所管分、第2条継続費の補正中、建設部所管分、第3条繰越明許費の補正、第8款土木費中、建設部所管分、第11款災害復旧費中、建設部所管分、

議案第68号 令和3年度富山市賃貸住宅・店舗事業特別会計補正予算（第1号）、
報告第1号 専決処分について承認を求める件、専決第51号 令和3年度富山市一般会計補正予算（第9号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出全部、

報告第2号 専決処分について承認を求める件、専決第3号 令和3年度富山市一般会計補正予算（第10号）、第1条歳入歳出予算の補正中、歳出全部、

以上4件を一括議題といたします。

これより、順次、当局の説明を求めます。

副市長 〔挨拶〕

建設部次長 〔議案第40号中
建設部所管分の概要について、
議案説明資料により説明〕

防災対策課長 〔議案第40号中
防災事務費について、
議案説明資料により説明〕

道路河川管理課長 〔議案第40号中
道路維持管理費について、
道路維持補修事業費について、
除雪対策事業費について、
消雪対策事業費について、
報告第1号について、
報告第2号について、
議案書及び議案説明資料により説明〕

道路構造保全対策課長 〔議案第40号中
トンネル等保全事業費について、
橋りょう維持補修事業費について、
議案説明資料により説明〕

土木事務所建設課長 〔議案第40号中
リフレッシュ事業費について、

サンライト事業費について、
議案説明資料により説明]

道路整備課長 〔議案第40号中
市道整備事業費について、
街路整備事業費について、
道路景観形成事業費について、
議案説明資料により説明]

河川整備課長 〔議案第40号中
河川水路整備事業費について、
浸水対策事業費について、
火防水路改良事業費について、
急傾斜地崩壊対策事業費について、
議案説明資料により説明]

公園緑地課長 〔議案第40号中
公園整備事業費について、
公園整備事業費の継続費の変更について、
ファミリーパーク管理事業費について、
議案概要書及び議案説明資料により説明]

市営住宅課長 〔議案第40号中
市営住宅管理費について、
月岡団地建替事業費について、
議案第68号について、

議案説明資料及び議案説明資料（追加分）により説明]

分科会副会長 それでは、これより質疑に入ります。

高原委員 議案説明資料45ページの公園整備事業費についてお伺いいたします。
城山公園用地の買戻しについて補正予算に計上されていますが、その目的についてお聞かせください。

公園緑地課長 今回の補正は土地開発公社の健全化を目的としております。私どもが買戻しをしていない土地が幾つかございますが、今回の土地開発公社の健全化計画に基づきまして、私どもの城山公園予定地を買い戻すということになってございます。

高原委員 そうしたら、何か特別に利活用するなど、目的というのは今のところは考えていないということでしょうか。

公園緑地課長 現在は買戻しをさせていただきまして、今後の整備計画に活かしていきたいと思っております。

金厚委員

議案説明資料49ページの呉羽丘陵フットパス連絡橋整備に係る公園整備事業費の件でお尋ねします。私はこの議案の2億3,000万円の増が多いとか少ないとかと言うつもりはないので、それだけはちょっと聞いておいてください。

というのは、連絡橋の下に主要県道がありますから、冬の融雪や雪の落下などのいろいろなことを想定して、いろいろな準備をしておられると思うのですけれども、そういった設備を整備し出すと、2億3,000万円の増で足りるのでしょうか。

架設方法の変更などで2億3,000万円の増額とのことですけれども、その他の予算はまだ膨らんでいくのではないかと、それが少し気になっています。

公園緑地課長

もともとこちらの落雪対策につきましては、橋自体は全部ロードヒーティングします。ケーブルの主索の部分につきましても、電熱線を巻きまして、雪が凍らないような仕組みになっております。

ですから、当初から、基本的に橋から氷が落ちることがないように構造にしておりますので、それが経費の増につながることはないと考えております。

金厚委員 今ほど言われたとおり、ロードヒーティングをして、ワイヤも凍るのを防ぐという話があったけれども、氷や雪を解かしますよね。それは水になって道路にかかりますよね。

公園緑地課長 橋自体に少し傾斜がありますので、その水が流れて、道路には落ちないような設計になっております。

金厚委員 よくあるのが、私もある現場で経験したことがあるのだけれども、融雪装置を使うと間違いなく水になるので、それを排水しなければいけないわけです。

そうなったときに、例えば排雪溝に鉄管一塩ビ管でも何でもいいのだけれども一を入れたとしたら、最終的にその排雪管が凍るのです。そうすると、中で凍ってオーバーフローしてしまうのです。

だから、そういったことも考えて一ロードヒーティングをする理屈は分かるのだけれども、そのような対策を考えておくべきでないかと私は思っているのです。

橋から雪が落ちないと言うけれども、極端な話が、北陸の、特にこのような状況の中で雪が降ったときに、例えば今県道にあります有沢橋などでも、屋根の鉄骨の上に積もってい

る雪が固まって、氷になって、どかんと落ちるのです。要するに、融雪すれば簡単な気がするのだけれども、それが凍ってしまうものだから、その辺について細心の注意を払う場合、果たしてこの2億3,000万円だけで足りるのかどうか、私はそこが少し心配なのです。それで自信を持って言えるのならいいのだけれども。

公園緑地課長 今ほど委員がおっしゃった件につきましては一番心配しているところでありましたので、そこは十分に融雪といたしますか、凍らない対策と、あとは排水対策については当初からしっかりと考えております。

金厚委員 その辺を考えないと、雪を解かしたからいいのではなく、解かした水を排水しなければ、その排雪管が凍ってしまうのです。それだけの寒さなのです。

ましてや、あそこは山の上で、吹きさらしでしょう。そうなってくると、塩ビ管だと割れるし、鉄管だと凍るし、鉄管自体も水道管を凍らせないために熱線を巻くようなことをしないと排水管は絶対凍るのです。その辺だけが心配なので注意して、本当に2億3,000万円ですら足りるのかどうか、やっぱりかかる

ものはかかるということなら必要だと思えますので一技術的なことは皆さん一番詳しいのですから、十分に検討してみてください。

岡部委員

事業費が2億3,000万円の追加ということで、トータル14億円を超える予算になっています。

この手の工事というのは、追加、追加というケースが非常に多いのです。例えば八田橋のケースだと、地盤が緩くて追加の工事が必要になったということもあります。金厚委員からも質問がありましたように、追加で増えるのは非常に一みっともないと言ったらおかしいですけども、最初にきちっとした調査がなされていないというケースがありますので、そういうことがないように、この14億円で大丈夫なのだというぐらいの感じで進めていただきたいと思います。

なお、当初予算でも公園整備事業の中で呉羽丘陵フットパスの予算がありますけれども、この14億円との関連についてお聞かせください。

公園緑地課長

この14億円につきましては、継続費で契約している分のものでありますので、当初予算とはまた別の話になっております。

今増額させていただく分につきましては、延長させていただく5か月分も含めての全体経費の枠の増ということをお願いしているものであります。

岡部委員 私が見きたいのは、14億円の全体経費でこの橋ができるのかどうかということなのです。

公園緑地課長 この14億円というのは、橋を架ける工事委託費と、あとは工事の施工管理費の2つになっておりますので、橋自体はそれで完成いたしますけれども、例えば、今はまだ着工していませんが、広場から橋の取付け部分の工事、あるいはそこから電線、電気を引いてくる部分というのは、また別の工事になっております。

岡部委員 ということは、まだまだ予算、経費は膨らむということだと思うので、できれば大枠、全体のものを示されたほうが、その都度、予算を追加していくよりも市民にとっては非常に分かりやすいと思います。そのようなことができるのでしょうか。

公園緑地課長 そもそもこれは橋を架ける契約で、橋を架ける経費、それに附帯する工事管理費の予算と

いうことになっておりますので、それ以外はまた別の契約になっております。

岡部委員 要は、橋を架けるだけの経費で14億円ということなのですね。分かりました。

分科会副会長 ほかにないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。

これより、議案第40号中建設部所管分、議案第68号、報告第1号中歳出全部、報告第2号中歳出全部、以上4件を一括して意見の表明を行います。

意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会副会長 意見の表明なしと認めます。

以上で、建設分科会建設部所管分を終了いたします。

午前10時34分 休憩

~~~~~

午前10時46分 再開

分科会副会長 これより、建設分科会活力都市創造部所管分の議案の審査を行います。

議案第40号 令和3年度富山市一般会計補正予算（第11号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳出第8款土木費中、活力都市創造部所管分、第3条繰越明許費の補正、第8款土木費中、活力都市創造部所管分を議題といたします。  
これより、順次、当局の説明を求めます。

活力都市創造部長 〔挨拶〕

活力都市創造部次長 〔議案第40号中  
活力都市創造部所管分の概要について、  
議案説明資料により説明〕

活力都市推進課長 〔議案第40号中  
都市基盤整備基金の積立について、  
議案説明資料により説明〕

交通政策課長 〔議案第40号中  
公共交通活性化補助事業について、  
新型コロナウイルス対策公共交通支援事業について、  
生活交通対策事業について、  
議案説明資料により説明〕

富山駅周辺 〔議案第40号中

地区整備課長 富山駅周辺地区南北一体的なまちづくり事業について、  
富山駅周辺地区土地区画整理事業について、  
議案説明資料により説明]

中心市街地 〔議案第40号中  
活性化推進課長 まちなか賑わい広場等運営事業について、  
議案説明資料により説明]

活力都市創造部次長 〔議案第40号中  
令和3年度繰越明許費について、  
議案説明資料により説明]

分科会副会長 これより質疑に入ります。  
質疑はありませんか。

岡部委員 議案説明資料6ページの件でございますが、  
とやま自遊館の駐車場がどうかということでは  
ないということでもいいのですね。

富山駅周辺 現在とやま自遊館の駐車場を使っております  
地区整備課長 が、この買戻しによりまして、引き続きとや  
ま自遊館の駐車場として利用いたします。

岡部委員 現状はとやま自遊館に貸し与えているという  
形でいいのですか。

富山駅周辺 現在、賃貸契約で貸しております。  
地区整備課長

分科会副会長 ほかにないようですので、これをもって議案  
の質疑を終結いたします。  
これより、議案第40号中活力都市創造部所  
管分の意見の表明を行います。  
意見の表明はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

分科会副会長 意見の表明なしと認めます。  
以上で、建設分科会活力都市創造部所管分を  
終了いたします。  
これで、3月定例会の当分科会に送付されま  
した補正予算分の議案の審査は終了いたしま  
した。  
委員各位に御相談申し上げます。  
分科会長報告につきましては、私に御一任い  
ただきたいと思っておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

分科会副会長 それでは、そのように取り計らいます。  
3月17日（木曜日）は、午前10時から、  
T o y a m a S a k u r aビル5階の大会



議室 A・B におきまして、予算決算委員会建設分科会及び建設委員会を開き、消防局、上下水道局、建設部、活力都市創造部所管分の当初予算等分の議案の審査などを行います。本日はこれをもって散会いたします。